

# 林家正雀

はやしや しょうじやく

二日連続口演 2026

主催・会場

砂丘館

六月二十日 土

六月二十一日 日

十三時半開演（両日とも）

\*詳細は裏面

金原亭馬吉（二十日のみ）

じっくりときかせる人情噺  
寄席のおどりと唄  
二年ぶりの新潟口演です

正雀ばなし その一

正雀ばなし その二

6/20(土)

おすわどん

お神酒徳利

長屋の花見

大喜利寄席の唄

まめだ

金原亭馬吉  
林家正雀

6/21(日)

持参金

水神（菊田一夫作）

猫の皿

大喜利寄席の踊り

紀州

林家正雀

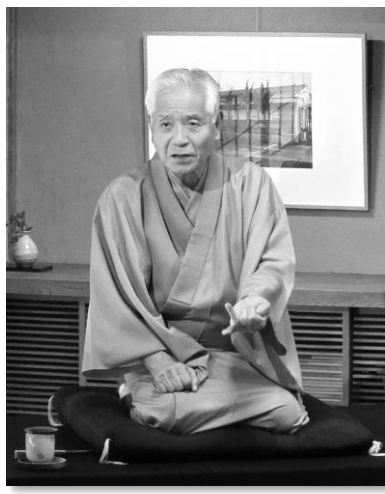


# おすわどん

古典ですが、断っていたのを桂歌丸師匠が復活させた噺です。私も演りたくなり、歌丸師匠のお弟子さんに了解を得て今年一月に根多下ろしをしました。まだ仮免の噺ですが、演り込んでいって免許を取れる噺にしたいと思っています。

# 長屋の花見(金原亭馬吉)

大阪で「貧乏花見」と云われる噺を明治三十年代に二代目蝶花楼馬楽師匠が東京に移したそう、すっかり江戸前に直したとも云われておりますが、「貧乏花見」を「長屋の花見」の題にした処がそのセンスの良さを思わせます。



# 持参金

桂米朝師匠のお得意噺でして、もともとは十返者一九の膝栗毛からとった噺だそうです。私は人間国宝の五街道雲助師匠から教えて頂きました。ただ女性蔑視だからどうもこの噺はやる処を選ばよと云う方もいますが、決してそんな事は無く世の中に有りそうな噺になっています。

# 猫の皿

江戸前の噺でしてサゲが実に秀逸です。恐らくサゲが先に出来て、前の噺を拵えたものかと思われまます。古今亭志ん生、志ん朝師匠もお演りになっていて、私は馬生師匠(先代)のお弟子の伯楽師匠に教えて頂きました。猫好きの人が作った噺だと思っております。

# まめだ

豆狸を大阪ではまめだと云うのだそうです。桂米朝師匠の十八番で、私は孫弟子の桂文我さんから教えて頂きました。道頓堀の芝居小屋が舞台ですが、こちらに移すので浅草の宮戸座にしてみます。演芸評論家の三田純一先生のお作です。

# お神酒徳利

これも大阪の噺です。噺のルーツは上方だと思っておりますが、この噺は二つの型が有って、一つは「古い八百屋」で三代目小ざん師匠が大阪からこちらに移したそう、柳家の方は、これを演って、もう一つは円生師匠がお演りになっていたので、三遊亭の方はそれでして、私は後者の型で演らさせて頂いてます。ただ鴻池の番頭の方弁はなかなか使えませんので、江戸の出店の番頭に変えて演っています。

# 噺の手引き 林家正雀

20日(土)

21日(日)

大喜利

林家正雀

# 紀州

徳川の八代將軍が決まる処をドキュメントタッチで描いたのは、凄く作者だと思います。恐らく噺家だと思われまますが、作者名が分からないのが残念です。今年の大河が豊臣兄弟です。この噺の面白さがより分かって頂けるかと思ひます。

# 水神

劇作家菊田一夫先生が三遊亭円生師匠の爲に拵えた噺です。お二人の力で名作になさったのです。円生師匠のお弟子の円窓師匠にお稽古をお願いしたら「この噺は、稽古では無く、自分で覚えて演れたいよ、新作は演者のセンスなんだから」と云われました。新作が古典と呼ばれる爲には、一人では無く何人もが高座に掛けてその上ですが、この噺は立派な古典になっています。

金原亭馬吉  
林家正雀

寄席の唄

寄席の踊り

開演13:30(両日とも)

# 林家正雀 二日連続口演 2026



砂丘館

旧日本銀行新潟支店長役宅  
新潟市中央区西大畑5218-1  
指定管理者:新潟絵屋・新潟ビルサービス特定共同企業体

林家正雀(はやしやししょうじゃく)  
落語家。一九五一年二月二十五日山梨県生まれ。七四年に八代目林家正蔵(のち彦六)に入門し、前座名繁蔵。七八年正雀で二ツ目。八三年同名のまま真打。

各回4000円(7000円)  
小中学生3000円(5000円) ( )は通し料金  
各回定員40名

事前申込が必要です。

お申込受付開始 5月6日(水) 9時(メール、ファックスも)

\*5月7日は休館日となります。ご注意ください。

\*参加希望日、お名前、参加人数を電話またはファックス、Eメールで砂丘館までお知らせの上、お申込ください。

電話・ファックス 0255・2222・2676  
Eメール yoyaku@bz04.palala.or.jp

\*いただいた個人情報はこの催しに関するご連絡以外には使用しません。

主催・会場 砂丘館



新潟駅バスターミナルより9番線浜浦町線C2系統又は18番線より観光循環バスで「西大畑坂上」下車徒歩1分

砂丘館には駐車場がありません。周辺の道路は駐車禁止です。公共交通機関をご利用ください。

〈私たちは砂丘館を応援しています〉